

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報 とえだ

Soeda
Public
Relations



光昌雲慶

令和4年9月から始まった英彦山神宮上宮の保存整備工事が、令和7年11月に無事完了しました。これにより、長きにわたる修復作業が終わり、英彦山神宮の歴史と文化が新たに息づく場所となりました。社殿内での参拝は現在行えませんが、春には参拝が再開できるよう準備が進められていますので今しばらくお待ちください。

JAN.2026

1

No.771

年頭のごあいさつ

新春吉祥



添田町長 寺西 明男

新年あけましておめでとございます。町民の皆さまにおかれましては、令和八年の輝かしい新春を希望とともに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。旧年中は、町政への深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年は十二支で「午年」にあたります。昔から馬は、力強く駆け、遠くから幸福運び、人々の暮らしを支えてきた頼れる存在であります。古代中国の故事に「千里の馬は常にあれども、伯樂は常にあらず」という言葉があります。優れた馬はいつの時代にもいるが、その力を見出し導く者は多くない、という意味です。まちの力、地域の宝は、すでにたくさんこの添田町にあります。大切なことは、それを見つけ、育て、共に活かしていく知恵と行動です。

今年はその想いを胸に、皆さまと共に「駆ける添田」進化する添田を合言葉に、未来へ前進してまいります。

さて、昨年一年を振り返りますと、まちの未来を支える大きな一歩を着実に進めることができました。特に、長年の課題でありました「町立小中学校の建設」が無事竣工し、新たな学びの場がスタートいたしました。子どもたちが、安心・安全で、創造力と人間力を育む教育環境のもと、元気いっぱい学ば姿は私たち町民全員の誇りであり、未来への希望そのものです。

また、子育て支援の充実として2月には「放課後児童クラブの新施設」も完成予定です。働く保護者の皆さまを支える体制も一層強化されます。次代を担う子どもたちを社会全体で育てる―その思いが、確かな形となり始めています。

さらに「みんなでまちづくり」の取り組みが各地区で力強く花開きました。地域イベントの開催、住民主体の交流・防災活動、地元資源を活かした取り組みなど、皆さまの情熱と行動が、まちを温かく、強くしています。行政だけでは成し得ない、住民の力が動き出しています。昨年の添田町は、その実感に満ちた一年でありました。

新たな年、私たちはさらに歩みを進めてまいります。まず「みんなでまちづくり」の推進を一層加速させ、地域の声を丁寧聞きながら、共につくる町政を揺るぎないものいたします。また、かねてより構想を進めております「仮称」健康・子育て・福祉ゾーン」の実現に向け、準備を着実に進めてまいります。保育、

子育て、高齢者支援、障がい福祉、地域交流などを一体的に進める環境を整え、町民誰もが安心して、笑顔で暮らし続ける「福祉のまち添田」を築いてまいります。

加えて、「鉄道跡地の活用」についても、一部歩道整備等を国・県、JR九州等へ強く要望し、歩いて暮らせる安全・快適なまちづくりを進めます。

また、日田・東峰・添田をはじめとする周辺地域と連携し、「地域をまたぐ観光ルートづくり」にも力を入れ、交流人口の拡大と地域活力の創出へ向けて取り組みを進めてまいります。時間を要する事業も多くありますが、町民の皆さまに夢と安心をお届けできるよう、着実に一歩一歩進めてまいります。

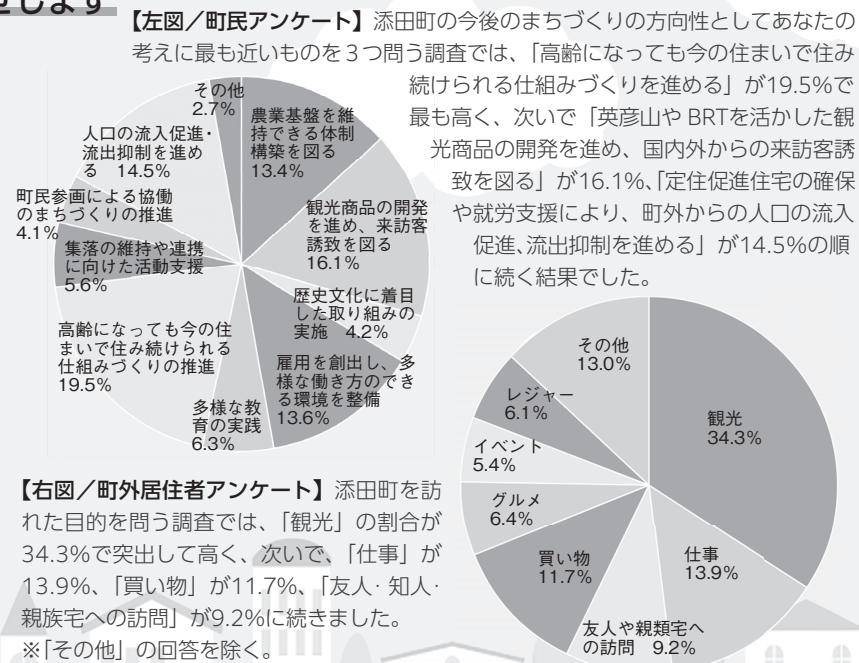
これからも行政と町民が心を合わせ、互いを信頼し、支え合いながら、希望に満ちた添田町を築いてまいりたいと思います。どうか引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さまと共に、馬のように力強く、しなやかに、未来へと駆け上がる一年といたしましょう。

本年が、皆さまにとりまして健やかで実りある一年となりますよう、心より祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



アンケート調査結果をお知らせします

後期計画は、将来像や行財政の状況などまちづくりの方向性や前期計画の検証結果のほか、町民アンケートや町外者アンケートの結果を踏まえ「令和8年度から5年間、特に力を入れるべき施策」を中心に策定を行っています。昨年6月に町民約2,000人を対象とし、町のこれまでのまちづくりへの評価やこれからのまちづくりについてお尋ねしたアンケート調査では、434人から回答をいただきました。併せて、町外居住者約3,000人にもインターネットアンケートを行い外部から見た添田町を調査しました。詳細は町ホームページに掲載していますが、今回はその一部を紹介します。



「添田町第6次総合計画後期計画(案)」に関するパブリックコメント

パブリックコメントとは、町の基本的な政策などを形成する過程で、その政策の趣旨、目的、内容などを公表し、広く皆さんの意見を募集し、これを踏まえて町の政策を定めていく制度です。町では、総合的かつ計画的な行政運営を行うため前期計画の検証結果やアンケート調

意見を募集する計画

▶添田町第6次総合計画後期計画(案)

計画の入手・閲覧方法

▶町公式ホームページからダウンロード

▶役場まちづくり課で閲覧

募集期限

▶令和8年1月21日(水) 17時15分

意見書を提出できる人

年齢は問わず、下記要件のいずれかを満たす人が意見書の提出を行うことができます

- ▷添田町内に住所を有する人
- ▷添田町内に事務所または事業所を有する個人と法人その他の団体
- ▷添田町内の事務所または事業所に勤務する人
- ▷添田町内の学校に在学する人
- ▷添田町に対して納税義務を有する人
- ▷「添田町第6次総合計画後期計画(案)」に利害関係のある人

留意事項

個人情報取り扱いや、意見公募用紙記載に関する注意事項などは町公式ホームページで確認ください

☎ 役場まちづくり課政策企画係 (☎ 82-5965)

査結果を踏まえ、「添田町第6次総合計画後期計画(案)」を作成・公表しました。この計画(案)に対するパブリックコメントを実施し、皆さんから寄せられた意見を計画の参考とします。なお、計画(案)に対する賛否を問うことが目的ではありません。

意見公募用紙の入手・提出方法

町公式ホームページからダウンロード、または役場まちづくり課で配布する意見公募用紙に必要事項を記入し下記のいずれかの方法により提出してください

▶窓口での提出 役場まちづくり課(庁舎2階9番窓口)に持参

▶郵送による提出 〒824-0691 添田町大字添田2151番地 添田町役場まちづくり課 宛

※1月21日、当日消印有効です。

▶電子メールによる提出 kikaku@town.soeda.fukuo.ka.jpに提出

※メールの件名は「添田町第6次総合計画後期計画(案)に対する意見公募用紙の提出」としてください。

▶ファクシミリによる提出 0947-82-2869に提出

意見などの公表

提案された意見は取りまとめ、意見の概要とそれらに対する本町の考え方を、令和8年2月下旬までに町公式ホームページに掲載します



町公式ホームページはコチラから↑



「みんなでまちづくり」を合言葉に

第6次総合計画後期計画策定中



令和3年3月に策定した「添田町第6次総合計画」は、令和12年までの10年間のまちづくりの方向性を示す「基本構想」と、令和7年度までの5年間を対象とした「前期計画」で構成されています。基本構想では町の将来像を「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」と定め、その実現に向けた考え方を示し、前期計画では人口減少や少子高齢化、防災・減災などの課題に対応する具体的な施策をまとめています。

現在、前期計画の検証やアンケート結果を踏まえ、令和8年度からの5年間を対象とした「後期計画」の策定を進めています。皆さんの声を取り入れたより良い計画にするため、ぜひ一緒に計画づくりにご参加ください。



添田町の最上位計画「添田町第6次総合計画」を紹介

町の最上位計画である「添田町第6次総合計画」は、町が進めるさまざまな計画の土台となり、行政運営の指針となるものです。令和3年に策定した計画は、令和12年までの「まちのありたい姿」を示す『基本構想』と、その実現に向けた具体的な21の施策をまとめた『前期計画』で構成されています。

実行計画は5年ごとに見直しを行い、現在は『基本構想』に掲げた「誰もが孤立することなく健康で、持続可能な農林業や、人々の交流を生み出す観光などによる雇用創出を図り、豊かな自然環境のもと住み続けられる、住みたくなるまち」に近づくため、前期計画の検証を行いながら、工夫や改善、新たな取り組みも盛り込んだ『後期計画』の策定を進めています。

10年後のありたい姿	施策別のありたい姿	施策（具体的な取り組み実行計画に示す）
いつまでも健康で 住み続けられる・ 住みたくなるまち	【定住・愛着】 住みたい・住み続けたいまち	▷定住・住宅対策の充実 ▷歴史文化遺産の継承と活用 ▷文化・芸術活動の振興 など
	【稼ぐ・関係人口】 人が集まりにぎわうまち	▷農林業振興 ▷観光振興 ▷商工業振興 ▷特産物の開発・ブランド化の推進 など
	【支え合い・助け合い】 誰もが孤立せず健康に過ごせるまち	▷健康づくりの推進 ▷地域共生社会の実現 ▷多様な個性・人権の尊重 など
	【安全・安心】 安全・安心に暮らせるまち	▷自然環境の保全 ▷防災・危機管理対策の充実 ▷公共インフラの整備 など
	【子育て・教育】 子育て支援・教育が充実したまち	▷子育て支援の充実 ▷社会教育・生涯学習の推進 ▷学校教育の充実 など
	【関心・自立】 自立と協働のまち	▷協働のまちづくりの推進 ▷社会情勢の変化に対応した行政運営の推進 など



「SOEDA-LAN」の概要

株式会社Fennel、株式会社QTnet、株式会社戦国、有限会社九州パーク運輸と添田町の5者で締結した「eスポーツを活用した地域活性化・地域課題の解決に関する連携協定」により、町にある光ファイバー通信基盤と参画各社が有する専門的な情報通信技術やeスポーツに関するノウハウを組み合わせ、eスポーツ普及や地域活性化・地域課題解決に向けた取り組みの第1弾として開催したのが、今回の「SOEDA-LAN」です。

8 マインクラフトの人気実況者雨栗さんと来場者が一緒に未来の添田を創る「SOEDAマイクラカップ2025」では、添田駅前を素敵な空間にするため雨栗さんが屋外ジムを、参加者が映画館やカフェなどをつくり、寺西町長にプレゼンしました。9 Nintendo Switch 2 (ニンテンドースイッチ 2) などの豪華賞品をかけたじゃんけん大会でプレゼンターを務めた、SOEDA-LAN司会の森保まどかさん。10 添田町PR大使毛利蘭さんがSOEDA-LANのために制作された歌を初披露しました。11 大会の記念に幟旗にサインを頂いた(左から) マインクラフト人気実況者の雨栗さん、寺西町長、プロeスポーツプレイヤーKairyuchanさん (QTDIG∞所属)、プロeスポーツプレイヤー Miyaさん (FENNEL所属)。12 体育館の大画面で大人気の格闘ゲーム対戦を繰り広げた来場者と Miyaさん。



11 体育館ではゲーム好き芸人ゴー☆ジャスさんを迎えたトークショーや来場者とのエキシビジョンマッチ、FENNEL所属の世界的プロeスポーツ選手Miyaさんを迎え来場者参加型マッチや、マインクラフトの人気実況者雨栗さんと来場者が一緒に未来の添田を創るSOEDAマイクラカップ2025などが開催され、旧添田小学校は9か月ぶりに親子や友人と楽しむ笑い声があふれ、かつて子どもたちが学び、遊んだ校舎に再び温かなにぎわいが戻った2日間となりました。

図 役場まちづくり課情報推進係(☎82-5965)



懐かしの校舎で世代を超えて楽しむ「みんなの放課後」

eスポーツの祭典 「SOEDA-LAN」初開催

12月13日、14日の2日間、旧添田小学校の校舎・体育館を丸ごとゲームセンターにしたeスポーツの祭典「SOEDA-LAN」を開催しました。最近、耳にする機会が増えている「eスポーツ」。eスポーツは、コンピュータゲームやビデオゲームを競技として楽しむ文化のことで、年齢や体力に関係なく誰でも参加・観戦できる点が大きな

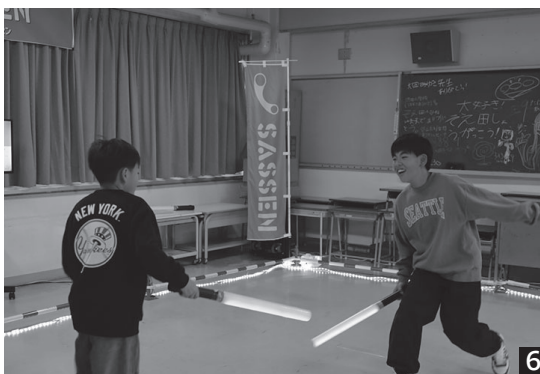
な特長です。世界的な大会が開かれる一方で地域イベントや交流の場としても注目され、世代や立場を越えて人がつながる新しいコミュニケーションツールとして広がりを見せています。こうしたeスポーツの魅力を、より身近に、より親しみやすく体験してもらおうと開催したのが、eスポーツの祭典「SOEDA-LAN」です。



1旧ランチルームがプロも使用する最新スペックのパソコンや最新ゲームが遊べる部屋に2ボードゲームに夢中の児童たち3インベーダーゲームなどレトロなアーケード型のゲームも用意4フォートナイト対戦会には多くの児童が集まりました

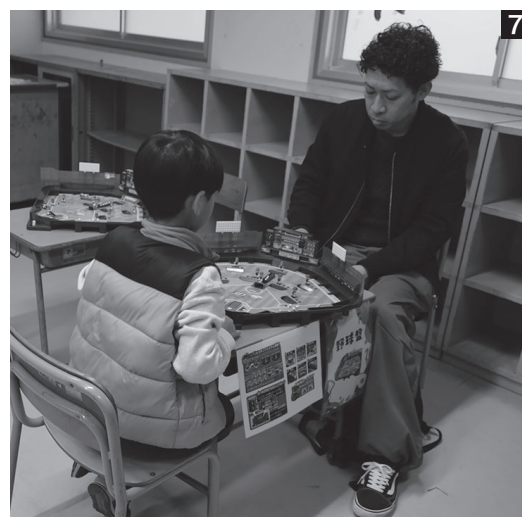


令和7年3月で閉校となった旧添田小学校。「SOEDA-LAN」では、閉校から使用していなかった教室やランチルームなどに最新の家庭用ゲームやパソコンゲーム、VRの体験コーナーに加え、かつて親しまれたアーケード型のレトロゲームやマジャン、ボードゲームコーナーなどを設置。安全な光る刃で戦うデジタルチャンバラや、フォートナイト大会なども用意した教室は、夢中で遊ぶ子どもや大人の笑顔と歓声に包まれていました。



ゴー☆ジャス特別トークショー ゴー☆ジャス VS 来場者 参加型特別エキシビジョンマッチ

さまざまなイベントが行われた体育館では、13日、ゲーム大好き芸人ゴー☆ジャスさんがトークショーの後、人気ゲーム「ばよばよeスポーツ」を来場者に対戦するエキシビジョンマッチが行われました。初戦では惜敗したゴー☆ジャスさん。次戦は勝てそうな小学2年の児童を選び対戦するも見事に惨敗し、会場は大きな笑いに包まれました。



5・6次世代のデジタルチャンバラ「サッセン」と「カッセン」。センサー内蔵の柔らかいLED刀はスマホアプリと連動して、どちらが先にあてたのかを機械判定することで、正確な判定が可能です。71年生の教室では野球盤やテーブルサッカーなど懐かしい玩具を親子や夫婦で楽しんでいます

民生委員・児童委員

つながる・支え合う 地域に寄り添うボランティア

ま ちの身近な相談相手
として地域を見守る

「民生委員・児童委員」。3年に一度の民生委員・児童委員全国一斉改選が行われ、令和7年12月1日から35人（民生児童委員33人、主任児童委員2人）が、厚生労働大臣の委嘱を受けました。

民生委員は、児童委員を兼任し、高齢者や障がい者の福祉に関することに加えて、子育てや介護などの不安に関する様々な相談支援を行います。また、一部の児童委員は特定の区域を担当せず、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員の指名を受けています。任期は、令和10年11月30日までの3年間です。心配ごとや困りごとなどがあれば、気軽に相談ください。相談は無料で秘密は厳守されます。



民生委員・児童委員のマークは、幸せのめばえを示す「四つ葉のクローバー」と、平和のシンボル「鳩」をかたどっています。



民生委員の活動にご理解、ご協力をお願いします

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れる中、高齢者や障がいのある人、子育てや介護をしている人などが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが増えています。そこで、地域の身近な相談相手として、必要な支援を行うのが「民

生委員・児童委員」の存在です。誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、さまざまな活動を行っている「民生委員・児童委員」について知っていただき、活動へのご理解とご協力をお願いします。

高齢者の見守り・訪問活動



ひとり暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯を定期的に訪問し、健康状態や生活の様子を確認します。体調の変化や困りごとがあれば、必要なサービスにつなげます。

災害発生時の対応

地域の危険箇所の確認や、避難情報が発令されたときの災害時避難行動要支援者への連絡、避難調整などに関係機関と連携し行います。



地域の皆さん



民生委員・児童委員

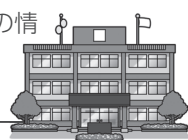
生活や福祉に関する相談

「誰に相談したらいいかわからない」そんな時の最初の相談窓口として、生活困窮、介護、障がい、子育てなど幅広い相談に応じます。



地域の福祉課題の把握と行政への橋渡し

「困っている人がいる」「地域で気になる状況がある」などの情報を行政へ伝え、必要な支援や対策につなげます。地域と行政の架け橋として重要な役割を担います。



長年の献身的な活動が称えられ、表彰を受けました

20年以上、民生委員・児童委員として活動し、地域福祉の向上に多大な貢献をされている伊藤千秋さん（梶田）と田中須美恵さん（添田西）が全国民生委員児童委員連合会から表彰を受け、昨年の11月27日に町民生委員協議会の藤井公義副会長から賞状が伝達されました。また、12月18日には、



↑全国民生委員児童委員連合会表彰を受けた田中さん㊤、伊藤さん㊤

11月末で退任された入口富士夫さん（上落合一、勤続12年）、岩田恵里さん（添田東、勤続6年）、伊川加代さん（町二、勤続12年7月）に厚生労働大臣から、樋口啓一さん（伊原、勤続3年）、加来勉さん（岩瀬、勤続3年6月）に福岡県知事から感謝状が贈られました。



↑厚生労働大臣からの感謝状を寺西町長から渡される入口さん

民生委員・児童委員の皆さんを紹介します

令和7年12月1日から3年間、民生委員・児童委員を務める皆さんを紹介します。お住まいの地域を担当する民生委員・児童委員の連絡先を知り

たいときは、役場福祉環境課まで問い合わせください。なお、役員は次のとおりです。

▶会長＝鈴見聡 ▶副会長＝藤井公義、鎌田英美代

民生委員・児童委員				（敬称略）	
担当行政区	委員名	担当行政区	委員名	担当行政区	委員名
英彦山	橋本 道夫	町三	田中美津子	真木	小畑 眞二
上落合二	藤井 公義	町四	鈴見 範親	真木団地	中嶋 豊弘
上落合一	渡壁季久代	伊原	大谷 將興	峰地	方志 博親
下落合	梅野由美子	豊川	安方 泰広	上中元寺	鎌田英美代
梶田・一ノ宮	伊藤 千秋	庄上	林 節子	下中元寺	原 珠美
旧三崎	鈴見 聡	桜橋	田島ゆかり	下中元寺不動	西山 司
野田	崎山 利昭	庄東・峰地北	西山 典子	上津野	高瀬 千束
添田東	大内 孝次	庄中	平野 澄枝	中津野	金子富士子
添田中	山本 豊樹	庄西	松下 信彰	下津野	吉竹由美子
添田西	田中須美恵	峰地団地	鬼丸 秀雄	主任児童委員	角崎 久美
町一	熊谷 好和	新城	福澤 憲昭	主任児童委員	足立美智子
町二	伊川 典文	岩瀬	倉田 主税		

☎ 役場福祉環境課福祉・障がい者支援係（☎ 82-1232）



November 11月

1日／観光大使熊谷真実×添田町
「maddmi」リップスティック発
売記念イベント



1日／第49回総合文化祭(～2日)
3日／津野地区収穫祭
7日／第1回添田町議会臨時会
7日／第2回屋外スマホ教室(全2回)
8日／男女共同参画推進セミナー「これっ
てDV?DVの現状と予防策」
15日／彦山川清掃活動
16日／添田町職員採用試験(1次試験)
16日／市町村対抗駅伝大会



20日／小学校跡地活用説明会(全4日)
21日／金婚及びダイヤモンド婚祝賀式典
22日／第41回少年の主張大会
22日／添田町ビジターセンター「添田英
彦商店」オープニングセレモニー
29日／ふる里まつり(～30日)

December 12月

1日／移動スーパーまごころ 下中元寺
地区運行開始
3日／第4回添田町議会定例会(～5日)
6日／添田町職員採用試験(2次試験)
9日／早生樹記念植樹祭
10日／人権講演会
13日／SOEDA-LAN(～14日)
18日／民生委員委嘱状・感謝状伝達式
20日／児童館クリスマス☆フェスタ
28日／添田町消防団年末警戒

September 9月

3日／第3回添田町議会定例会(～12日)
13日／町立図書館「秋の映画上映会」
13日／こどもとしょかんおはなし会
15日／英彦山スロープカー敬老の日感謝祭
17日／公民館講座「大人のパン作り教室」
(全3回)
18日／100歳お祝い状贈呈



22日／添田町青少年グローバル人材育成
事業報告会
25日／秋の交通安全街頭キャンペーン
26日／交通安全教室

October 10月

1日／町バス「川崎・田川コース」運行
開始
4日／図書館ボランティアスタッフ体験
(全3日)
8日／公民館講座「大人の料理教室」(全
4回)
10日／添田中学校合唱コンクール
11日／英彦山スロープカー感謝祭「木の
おもちゃキャラバン」
18日／児童館わくわく☆イベントデー
「ニュースポーツ大会」
19日／図書館で楽しむ音楽会「保育士さ
んと社会福祉士さんが奏でる癒し
のハープとギターの演奏会」



25日／添田小学校運動会
31日／移動スーパーまごころ 野田地区
運行開始

July 7月

19日／添田町職員採用試験(1次試験)
20日／第27回参議院議員通常選挙(投票
率56.21%)
29日／北海道美深町教育交流(～8月1日)



29日／人権講演会
29日／児童館わくわく☆イベントデー
「お花であそぼう」(全2回)
29日／毛利蘭さんPR大使委嘱状交付式

August 8月

1日／添田町青少年グローバル人材育成
事業 in ハワイ(～7日)



2日／そえだ巡りデジタルスタンプラリー
(～11月3日)
9日／そえだ花火大会



9日／添田町職員採用試験(2次試験)
23日／歓遊舎ひこさん夏の夜祭り
23日／平和文化事業「祈り」上映会
23日／津野地区盆踊り大会
27日／男女共同参画推進セミナー「仕事
と子育て両立応援セミナー入門編」
31日／添田町消防団防災の日訓練

2025. 1. 1
---▶ 2025. 12. 31

2025
町のあゆみ

2025年、皆さんの1年はどんな年でしたか。ここでは、
添田町の2025年の1年間の主な出来事を一挙に振り返り
ます。

May 5月

8日／町立図書館読書会教養講座「知り
たい!アルゼンチン」
16日／移動スーパーまごころ 下落合地
区運行開始
17日／添田中学校体育会
18日／遠賀川一斉清掃
22日／第1回屋外スマホ教室(全2回)
25日／第59回英彦山山開き・登山安全
祈願祭



30日／小森川河川改修工事完工

June 6月

2日／第2回添田町議会定例会(～4日)
7日／添田英峰塾開校式
21日／公民館講座「ニュースポーツ講座」
(全7回)
21日／英彦山スロープカーアジサイ摘み
取り体験会(全2日)
24日／学びっこ教室開始
28日／英彦山スロープカーラベンダー摘
み取り体験会(全4日)
30日／東扇鶴橋橋梁改築工事完工

March 3月

2日／添田町消防団機材操作演習
3日／第1回添田町議会定例会(～14日)
7日／真木小学校・落合小学校閉校式
8日／中元寺小学校閉校式
9日／図書館で楽しむ音楽会「筑前琵琶
で聴く文学の世界」
10日／添田小学校閉校式
16日／町民バドミントン大会
18日／町公式ホームページリニューアル
23日／添田小中学校新校舎内覧会
23日／福岡県知事選挙(投票率40.82%)
24日／添田公園桜まつり(～4月6日)
30日／日田彦山線A I R演奏会
31日／町道屋形原・二又線道路改良工事
完工

April 4月

1日／5歳児健診開始
1日／水道料金改定
5日／添田小学校・添田中学校落成式



19日／英彦山スロープカーお花見列車
(～20日)

January 1月

12日／添田町消防出初式



12日／二十歳のつどい
19日／中島家住宅「新春俳句の宴」
25日／児童館わくわく☆イベントデー
「陶芸教室」

February 2月

3日／移動スーパーまごころ 榊田地区
運行開始



7日／添田中学校立志式
9日／防災安全祈願祭
9日／第39回子どもまつり
13日／町立図書館・読書会 大人向け読
み聞かせ会

交換期限は3月までです

介護予防ポイントのお買い物券への交換を忘れずに

町が実施する介護予防事業や老人クラブ活動へ参加するとポイントが貯まり、町内で使える地域お買い物券と交換できる介護予防ポイント事業の交換申請を受け付けています。期限を過ぎると交換できなくなりますので、忘れずに手続きをお願いします。

▶**交換期間** 令和8年1月5日(月)～3月31日(火)

▶**申請に必要なもの** 介護予防ポイント手帳

▶**ポイント交換方法**

▷役場①番窓口(福祉環境課)で交換

▷元気倶楽部、健康体操教室、高齢者パソコン教室、ストレッチ教室、トランポリン教室の参加者は教室の開催時に交換

☎ 役場福祉環境課高齢者支援係 (☎82-1232)



田川税務署からのお知らせ

令和8年分の確定申告が始まります

今年も田川税務署に確定申告の会場を設置します。会場での相談を希望する人は、国税庁LINE公式アカウントから事前予約をお願いします。

▶**とき** 2月16日(月)～3月16日(月)の9時～16時(土日祝日を除く)

※不動産の売却・贈与税の申告相談は期間中の木曜日または金曜日に来場してください。

▶**必要なもの** ▷申告書作成に必要な書類 ▷マイナンバーカード ▷スマートフォン ▷マイナンバーカードの暗証番号2つ

※スマートフォンをお持ちの人には、原則自分のスマートフォンで申告書の作成をお願いしています。

▶**自宅で簡単e-Tax** 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」からスマートフォンやパソコンを使って、自宅で確定申告書を作成できるe-Tax(電子申告)が便利です。

※役場での確定申告に関する案内は、広報そえだ2月号でお知らせします。

☎ 田川税務署 (☎44-0430)



該当する人は申請をお願いします

医療費が高額になったときは払い戻しの制度があります



国民健康保険の被保険者が、同じ月内に医療機関で支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合、申請により超えた額が「高額療養費」として支給されます。支給額が5千円以上の人には2か月おきに申請のお知らせをお送りしますが、5千円未満でも返還の対象となる場合があります。ただし、国民健康保険税の滞納があると支給されないことがありますのでご注意ください。医療費の自己負担限度額は被保険者の所得によって異なります。詳しくは問い合わせてください。

▶**申請に必要なもの**

▷医療費の明細がわかる領収書

▷手続きをする人の本人確認書類(マイナンバーカードや運転免許証など)

70歳以上の人の外来医療費に年間の限度額が設けられています

▶**対象者** 基準日(令和7年7月31日)に70歳以上で、高額療養費の自己負担限度額が「一般」または「市町村民税非課税世帯」に該当している人(医療費の負担割合が3割でない人)

▶**年間上限額** 14万4千円

※月ごとの高額療養費が支給される場合は、差し引いた金額で計算されます。

▶**計算期間** 令和6年8月1日～令和7年7月31日

▶**申請先** 基準日に加入している健康保険元

※国民健康保険加入期間のみで年間14万4千円を超える人には、役場から申請書を送付します。計算期間内に社会保険期間がある人で14万4千円を超える人は、申請時に保険元から発行された自己負担額証明書が必要です。

※75歳以上の人は、後期高齢者医療広域連合から通知が届きます。

☎ 役場住民課保険年金係 (☎82-5966)

私たちの未来を守るために大切なこと

知っていますか？ワンヘルス



FUKUOKA ONE HEALTH

ワンヘルス(One Health)とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていこうという考え方です。私たちが健康に暮らしていくためには、地球に暮らす動物そして地球自身も健康である必要があります。私たちとワンヘルスとの関わり方は「知って・学んで・実践する」ことです。まずはワンヘルスという言葉を知って、ワンヘルスの理念とは何かを学び、自分のことから実践しましょう。

☎ 役場福祉環境課環境保全係 (☎82-1232)

◎福岡県のワンヘルスを推進する6つの基本方針

①人獣共通感染症対策

新型コロナウイルスなど人と動物どちらにも感染する病気を防ぐためには「感染源」と「感染経路」、「宿主」の3つの要因への対策が必要です

▶**私たちができること**

▷手洗い、咳エチケットによる感染予防・防止 ▷ペットの衛生管理、予防接種 ▷草やぶでの長袖着用による虫刺され防止



②薬剤耐性菌対策

抗生物質が効かない薬剤耐性菌による感染症が発生すると、これまで使っていた薬が効かなくなるなど治療が難しくなります。薬剤耐性菌を増やさないために一人ひとりの取り組みが重要です

▶**私たちができること**

▷用法用量を守った薬の服用 ▷薬は飲み切り、あげない、残さない



③環境保護

大規模な森林伐採などは森に生息していた病原体と人が遭遇する機会を生みます。人と動物の健康を維持するためには、多様な生態系を守り、人と動物のすみわけを保つことが大切です

▶**私たちができること**

▷自家用車の使用を控える ▷節電・省エネに取り組む ▷ごみのポイ捨てをしない



④人と動物と共生社会づくり

動物との関係をより良く保つために、動物の生態や本能、習性を理解しましょう。動物を飼う場合は衛生管理に気を配り、寿命を迎えるまで適切に飼育しましょう

▶**私たちができること**

▷ペットの予防接種や健康診断 ▷マイクロチップを活用した迷子防止 ▷野生動物に餌付けをしない



⑤健康づくり

自然環境と多様な動植物との関係の中で誰もが健康を維持するために、人や動物が身体的・精神的・社会的にも良い状態で過ごすことができる環境づくりが大切です。

▶**私たちができること**

▷ハイキングなどで自然と触れ合う ▷森林浴でリフレッシュする ▷動物園や水族館に行く



⑥環境と人と動物のより良い関係づくり

健全な環境で生産された農林水産物を食べることが人の健康にも直結します。また地産地消への取り組みは環境の負荷軽減につながります

▶**私たちができること**

▷福岡県産の食物を積極的に食べる ▷食品ロスをしないように努める



◎福岡県のワンヘルス啓発施設第1号は「フォレストアドベンチャー・添田」

町は令和5年4月にワンヘルス推進宣言を行いました。同年4月にオープンしたフォレストアドベンチャー・添田は県内で初めての福岡県ワンヘルス啓発施設に認定されました。フォレストアドベンチャー・添田には、自然の動植物を育成しているビオトープがあります。2人の福岡県認定ワンヘルスマスターが在籍していますので、楽しく体験しながらワンヘルスを学んでみませんか。



※福岡県のワンヘルスに関する情報は、福岡県ワンヘルス推進ポータルサイトをご覧ください。





地域ににぎわいを生み出す

みんなでまちづくり

コロナ禍以降、地域のイベントが減っている添田東地区で「行ってみたいくなる何かをみんなで創ろう」と地域で協力して、添田東“祭り25”が11月22日に添田東公民館で開催されました。地域住民が集まりカラオケや輪投げ、盆踊りを行った後にカレーライスを食べながら福引抽選会など、楽しい催しに公民館は笑顔に包まれていました。また、上中元寺地区では田中組にある通称「キノコ公園」の遊具のペンキ塗りなどが行われました。上中元寺青壮年クラブが中心となり、ペンキ塗りだけでなく遊具の研磨や草刈りなども行われ、誰もがより利用しやすい公園になりました。

↓添田東“祭り25”では約80人が公民館に集合し、15時過ぎから約4時間、思い思いに楽しんでいました



↑ジャングルジムなどの遊具を丁寧に研磨・塗装しました ↑きれいに明るくなったキノコ公園は、名所でもあります

児童とともに成長する早生樹センダンを植樹

未来へつなぐ森づくり事業

12月9日、落合地区の山林で早生樹センダン記念植樹祭が福岡・大川家具工業会などの協力で行われました。5回目を数える児童によるセンダンの植樹。5年前に植樹したセンダンは3メートルに達する高さまで順調に成長しています。今年も丁寧にセンダンが植樹され、森林資源の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



↑1メートルほどのセンダンを100本植樹しました

自分の人生の主語は常に自分でいい

人権講演会

オークホールで12月10日、法学者の谷口真由美さんを講師に迎え人権講演会が行われました。終始ユーモアを交えつつ「自分がされて嫌なことはしないと言わなければならない。自分が平気なら人も平気だと思い込んでいる。大切なのは、された方が嫌だと感じることをしないこと」だと話していました。



↑嫌なことに対してNOを言う態度が大事と話す谷口さん

年に一度のお楽しみ！世界の技に大興奮！！

児童館クリスマスフェスタ

12月20日、児童館でクリスマスフェスタが開かれました。虹の会によるエプロンシアター「大きなかぶ」などの読み聞かせの後、ジャグリング世界大会で2位に輝いたこともあるパフォーマーやさんのパントマイムやジャグリングなどが披露され、参加した60人ほどの児童は大興奮で、楽しいひとときを満喫していました。



↑バランスをとりながらのジャグリングに児童たちから拍手の嵐が

BRTひこぼしラインにマリオが乗車！

BRTひこぼしラインラッピングイベント

BRTひこぼしラインに任天堂の人気ゲーム「スーパーマリオ」をラッピングするイベントが12月13日、JR九州バス添田支店で開催されました。イベントには県内外から11家族42人が参加。スーパーマリオのBGMがトンネル走行時に流れ、ゲームの世界観を楽しむことができるBRTは6月末まで運行されます。



↑ラッピングされた車両は1日5便、運行されます

添田の美味しい・楽しいが集合！食とステージで地域が結束！！町の魅力あふれる2日間

そえだふる里まつり

↓オープニングの餅まきには毎年多くの人が集まります ↓元気いっぱいに踊るたから保育園児のダンス ↓添田舞姫連の皆さんによる妖艶な創作ダンス



↑英彦山がらをカラフルに、上手に絵付けしていきます ↑用意した商品が売り切れた店舗が続出するほど多くの人が訪れました ↑ポテトでお腹一杯になったかな？

例年10月下旬に開催されるふる里まつり。昨年は開催時期を1か月遅らせ、11月29日、30日の2日間で開催されました。11月下旬とは思えないほど暖かく、天候に恵まれたオークホール駐車場は、お馴染みのヤマメの塩焼きや、甘辛く煮込まれた手作りこんにゃく、イノシシ汁に加え、添田産の野菜や英彦山でしか買えない豆乳チーズケーキ、姉妹町の北海道美深町産じゃがいもなど食欲を刺激する多くの美味しい

食べ物が販売され、買い物客を引き付けていました。また、英彦山がら絵付け体験や宝物抽選会なども人気で多くの人でにぎわいました。ステージでは町内の保育園児によるダンスや、添田中学校吹奏楽部による演奏、添田舞姫連のダンス、バンド演奏、来場者を巻き込んだ婦人会による踊りでは添田町PR大使の毛利蘭さんが添田音頭を熱唱するなど、子どもから大人までみんなが楽しめた2日間となりました。

桝田落合営農組合が優良賞受賞

福岡県大豆作経営改善共進会表彰

農事組合法人桝田落合営農組合が令和6年度福岡県大豆作経営改善共進会表彰式で米・麦・大豆づくり推進協議会会長賞優秀賞と福岡県米麦品質改善協会会長賞を受賞し、昨年11月25日、寺西町長へ報告に訪れました。この賞は大豆の生産技術や経営が先進的で模範となる生産者を表彰するものです。6年度産の大豆は天候不良などにより県内全体で収穫が少ない中、桝田落合営農組合は課題に向かい合い優秀な収量を上げました。「機械の購入費や維持管理費が高く、経営は厳しい状況ですが、質の高い大豆づくりの取り組みが評価されてとても嬉しいです」と話していました。



表彰式で賞状を受け取る白石組合長↑

1月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY

おめでとう



みずき
古河 瑞輝 ちゃん
1月19日生 ①・旧三崎

1歳おめでとう♡大きくなってね♡



未就学児のお子さんの
写真を募集します



- ①お子さんの写真
- ②お子さんの氏名
- ③名前の読み方
- ④誕生日 ⑤年齢
- ⑥行政区 ⑦メッセージ (50文字以内)
- ⑧保護者の連絡先を送信してください。

2月生まれの締め切りは、**1月16日(金)**です。

送信先

koho@town.soeda.fukuoka.jp

〒 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)



地域子育て支援センター 1月の予定

★なかよしコンサート in オークホール
▷29日

★サークル「めだかっこ」(毎週火曜日)

▷13日/虹の会読み聞かせ(給食) ▷20日/
ヨガ講座 in 児童館 ▷27日/運動遊び(給食)

★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日)

▷9日/正月遊び ▷16日/親子健康教室・
おっぱい相談 ▷23日/虹の会読み
聞かせ ▷30日/ボール遊び

★ベビーサークル「あっぱっぷ」

▷14日 ▷28日/虹の会読み聞かせ

★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」

▷8日

※詳しくは「おんぶにだっこ通信」をご確認ください。

〒 添田町地域子育て支援センター (☎ 85-0888)



添田町就学援助費交付制度

経済的な理由で就学が 困難な家庭を援助します

添田町立小中学校に在籍する児童・生徒で、経済的な理由により給食費の支払いや学用品などの購入が困難な生活状況にある世帯に対して、認定要件に該当する場合に、費用の一部を援助します。認定要件は世帯構成の人数や年齢、所得などで異なるため、申請しても支給できない場合もあります。必要な書類も各家庭で異なりますので、まずは相談ください。

▶受付期限 2月13日(金)17時15分

▶申請に必要な書類 ▷就学援助申請書及び世帯票・委任状 ▷世帯全員分の最新の所得証明書 ▷印鑑(シャチハタ不可) ▷その他(事情に応じて失業証明書など)

※就学援助申請書及び世帯票・委任状は町ホームページまたは教育委員会で入手できます。

▶注意事項 申請は毎年必要です。今年度支給を受けている人も新たに申請が必要です。

※支給方法や助成限度額などの詳細は、町ホームページで確認ください。

〒 役場教育委員会学校教育課
学校教育係(☎82-5963)



↑町ホームページは
コチラから

自分らしい人生のために

健康維持と終活のポイントを学びましょう

日々の生活の質を高め、健康的で充実した自分らしい人生を送るために、この機会に一緒に学び、行動してみませんか。どちらも無料で参加可能です。ぜひ気軽に参加ください。

◎生活習慣病予防教室

～減塩でもおいしく食べるコツ～

食塩の取りすぎは高血圧の原因となり、心臓病や脳卒中、腎臓病などの様々な生活習慣病を招きます。高血圧を予防するための「減塩」のコツと一緒に学びませんか。

▶とき 1月29日(木) 14時～15時30分

▶ところ 添田人材開発センター 1階

▶対象者 今年度、町の特定健診を受診した添田町に住んでいる人

▶定員 先着10人程度

▶受講料 無料

▶申込方法 下記まで電話で申し込みください

▶申込締切 1月16日(金)

※参加者には、野菜のプレゼントがあります。詳しくは問い合わせください。

〒 役場健康子育て応援課健康・子ども保健係
(☎31-5001)

◎男女共同参画推進セミナー

～終活を考える～

誰でもいつかは訪れる老後。終活のために検討すべき財産管理や自分らしく生きていくこと、認知症対策、相続を「争族」にしないための知識などを一緒に学びましょう。

▶とき 1月24日(土) 10時30分～12時

▶ところ オークホール研修室

▶講師 一般社団法人STARGEORGE
代表 猿渡真吾さん

▶定員 先着20人

▶受講料 無料

▶無料託児 あり
(生後3か月～小学生)

※事前に予約が必要です。

▶申込方法 下記まで電話で申し込みください

▶申込締切 1月14日(水)

※締切日以降も定員に空きがあれば申込可能です。興味のある人は問い合わせください。

〒 役場総務課男女共同参画推進係
(☎82-1231)



文芸歳時記

【短歌 投稿】

大都会のネオン灯れば金色に

光る時あり雨の舗道は 独活山 強実

なめらかに進まぬ手順を職員に

注意され渡す香典返し 櫻木マサ子

貧しきを救う第一なるに一律

国債ぼうだい子に背負わすか 柳瀬 一徳

御来光願ひと誓ひ柏手に

駈けて出でませ希望の天馬 西村 宗雪

手を合わせ皆がいつも幸せに

暮らせるようにと願う初春 佐藤 直

黄に淡く緑ふくみて銀杏葉は

参道一面占めて華やぐ 久保田克利

【俳句 投稿】

裏英彦山の男魂岩綺羅と冬紅葉

伊勢村 稔

楽しいね赤があるならシクラメン

寺本 芳寛

手始めにカーテン洗いて年支度

柳瀬 満子

【川柳 投稿】

助成金活かして我が町盛り上げる 原田祥二郎

歓遊舎感謝の開館26周年

原田 順子

◎2月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

1月16日(金)までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

〒 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)

人の動き

●人 口	8,099 人（－20人）	●出生	2 人
●男 性	3,843 人（－7人）	●死亡	12 人
●女 性	4,256 人（－13人）	●転入	8 人
●世帯数	4,319 世帯（－8 世帯）	●転出	18 人

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
1月20日(火)、2月3日(火)
- 補聴器相談（役場ロビー）
1月20日(火)（13時～）、2月13日(金)（15時～）
- 無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
1月13日(火)、2月10日(火)
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
☎ 法テラス福岡（☎050-3383-5502）
- こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
1月13日(火)（10時～）、1月22日(木)（14時～）
☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎42-9307）

納期限のお知らせ

- 2月2日(月)が納期限です
▷国民健康保険税（7期）
▷後期高齢者医療保険料（7期）
□座振替日は1月26日(月)です
☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）

警察署からのお知らせ

- 緊急時 あわてず あせらず 110番
～110番は緊急電話、相談ごとは＃9110～
110番は事件事故の緊急通報専用電話です。緊急の対応を要さない相談や要望で110番通報することは、1分1秒を争う緊急の事件・事故への対応を遅らせる原因となります。緊急の対応を要さない相談・要望などは「＃9110」、または田川警察署へお願いします。

10月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	17(－1)	132
人身事故	3(+1)	16
死亡者	0(±0)	0
負傷者	3(±0)	20

☎ 田川警察署（☎42-0110）

歓遊舎からのお知らせ

- 下記の期間、営業時間を変更します。
▷期間 1月4日(日)～2月28日(土)
▷営業時間 9時～17時
☎ 道の駅歓遊舎ひこさん（☎47-7039）

フォレストアドベンチャー・添田 町民特別割引キャンペーンを実施します



日頃の感謝の気持ちを込めて、期間限定で町民特別割引キャンペーンを実施します。この機会にぜひご利用ください。

- キャンペーン期間 1月10日(土)～2月28日(土)
- 割引内容
アドベンチャーコース 4,000円→2,000円
キャノピーコース 3,000円→1,500円
※添田町に在住していることがわかるマイナンバーカードや運転免許証を受付で提示してください。詳しくは問い合わせください。
☎ フォレストアドベンチャー・添田（☎080-3975-4010）

お越しください。なお、Webシステムの操作は会場責任者が行いますので安心ください。

- ▼とき 1月24日(土)10時～13時
- ▼ところ 田川青少年文化ホール
- ▼予約受付期間 1月5日(月)～定員の6組になり次第終了
- ▼予約電話番号 44―2530（平日10時～16時）

☎ 福岡県司法書士会筑豊支部（☎45―3996）

全国一斉生活保護相談会
福岡県青年司法書士協議会と全国青年司法書士協議会が生活保護に関する電話相談会を開催します。
相談は無料で秘密

密は厳守されます。

- ▼とき 1月25日(日)10時～18時
- ▼相談電話番号 0120―052―088（フリーダイヤル）

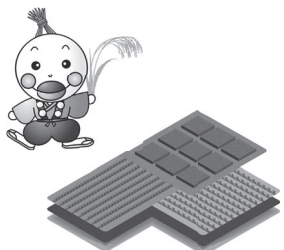
☎ 福岡県青年司法書士協議会（☎0942―23―7096）

ありがとうございます（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼㊦廣田毅（上中元寺）▼㊦林牙子（添田東）▼㊦竹松光子（添田東）▼㊦青野三重子（添田中）▼㊦石井喜美枝（庄西）▼㊦田中勝久（庄中）
▼一般寄付 社会福祉法人豊徳会（福岡市）
（令和7年12月15日現在）



梅野香理さんが教育委員に再任しました
梅野香理さん（下落合）が令和7年第3回添田町議会定例会で教育委員再任の同意を受け、10月21日に寺西町長から辞令が手渡されました。任期は、令和7年10月21日から令和11年10月20日までの4年間です。
☎ 教育委員会学校教育課学校教育係（☎82―5963）



農業委員会報告
【12月10日(火)開催 総会審議結果】
▼農地法第3条にかかる所有権の移転
・・・1件／面積62㎡を許可
※2月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、1月26日(月)です。
☎ 添田町農業委員会（☎82―1237）

プレミアム商品券の使用期限は1月12日です
期限を過ぎた商品券は使用できません。また、返金もできませんので使用期限にご注意ください。使用期限は、紙・デジタルともに1月12日(月)です。忘れずにご使用ください。
☎ 添田町商工会（☎82―0244）
役場商工観光振興課商工観光振興係（☎82―1236）

税金の納期限が過ぎました
納め忘れはありませんか
町県民税・固定資産税・軽自動車税（種別割）の今年度の納期限が過ぎました。納め忘れがある場合は、早急に役場会計窓口または町指定金融機関で納めてください。納付書を紛失した場合は再発行します。なお、固定資産税と軽自動車税（種別割）は、スマートフォン決済アプリでの納付も可能です。町では滞納者に対して給与の差し押さえなどの滞納処分を行っています。未納のままにならないよう早めの確認と納付をお願いします。
☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎82―1234）

自衛官候補生採用試験
▼試験日 ▼2月9日(月)～12日(木)のうちいずれか1日／筆記試験・適性検査 ▼2月15日(日)～17日(火)のうちいずれか1日／口述試験・身体検査
町営住宅空き家入居者【定期募集】
▼抽選日 2月6日(金)15時～
▼ところ 役場2階第1会議室
▼募集団地 朝日ヶ丘団地（2月完成予定）など
▼入居予定日 4月1日(火)
▼募集期限 1月23日(金)
※入居予定日は変更になる場合があります。

福岡県公共職業訓練施設内訓練生募集
田川・小竹高等技術専門学校では、令和8年度施設内職業訓練生（4月入校生）を募集します。
▼試験日 1月27日(火)
▼募集期限 1月19日(月)
▼募集科 ▼田川校Ⅱ電気工事科、自動車整備科、木工家具科、エクステリア左官科、OA事務科
▼小竹校Ⅱプログラム設計科、自動車整備科、機械加工工

あなたと歩む、司法書士無料法律相談会
相続や会社設立、借金、悪質商法の問題、成年後見など身近な法律トラブルに、司法書士が会場に設置したWebシステムを介して無料で相談に応じます。秘密は固く守られます。気軽に

お知らせ

プレミアム商品券の使用期限は1月12日です

期限が過ぎました。納め忘れがある場合は、早急に役場会計窓口または町指定金融機関で納めてください。納付書を紛失した場合は再発行します。なお、固定資産税と軽自動車税（種別割）は、スマートフォン決済アプリでの納付も可能です。町では滞納者に対して給与の差し押さえなどの滞納処分を行っています。未納のままにならないよう早めの確認と納付をお願いします。

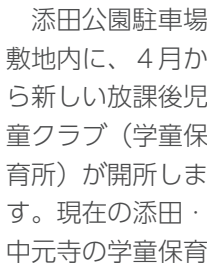
受験資格 日本国籍を有する18歳～32歳の日本人
▼受付締切 2月8日(日)
※自衛官等募集説明会を随時開催しています。個別説明や出張説明も可能です。詳しくは問い合わせください
☎ 自衛隊福岡地方協力本部ビコット宣伝部

があります。募集団地や必要書類など、詳しくは問い合わせください。
☎ 役場住環境整備課住環境・契約係（☎82―1235）

ジニア科、建築科、デザイン塗装科、介護サービス科
※詳しくはハローワークに備え付けている「訓練生募集要項」またはホームページ（https://www.fukuoka-kunen.ac.jp/）を確認してください。
☎ 福岡県立田川高等技術専門学校（☎44―1676）
福岡県立小竹高等技術専門学校（☎0949―62―6441）

4月から場所が変わります

放課後児童クラブ 児童募集



添田公園駐車場敷地内に、4月から新しい放課後児童クラブ（学童保育所）が開所します。現在の添田・中元寺の学童保育所は閉所となるため、利用を希望する人は新しい「そえだ学童保育所」に申し込みが必要です。利用申込の申請書などは1月から配布します。詳しくは添田学童保育所に問い合わせください。

☎ 添田学童保育所／12時30分～18時（☎82-3422）
役場健康子育て応援課子ども育成・支援係（☎82-5964）

みんなでとめよう!! 国際電話詐欺

犯人からの電話を ブロックしましょう

最近、+1や+44などから始まる国際電話番号を利用した特殊詐欺の被害が多発しています。被害に遭わないためには、犯人からの電話を直接受けないようにするための対策「国際電話の着信ブロック」が特に有効です。申し込むことで国際電話の利用を休止することができます。申し込みは無料です。海外に住む人と固定電話で通話することがない人は、この機会に申し込みください。

●国際電話不取扱受付センター
▶電話番号 0120-210-364

（通話料無料）
▷オペレーター案内 平日9時～17時
▷自動音声案内 24時間対応

※手続きに不安のある人は、警察官がサポートします。気軽に田川警察署まで連絡ください。

☎ 田川警察署（☎42-0110）



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX 0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soeda.fukuoka.jp>

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています



添田町議会議長 畠田 勝廣

添田町議会 Soeda Town Assembly

年頭のごあいさつ

恭賀新年



新年 明けまして

おめでとうございます

令和8年の年頭にあたり、添田町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。また、平素から本議会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

昨年は物価高騰に歯止めがからず、電気代、ガソリン代等の光熱費や食料品など、生活必需品ばかりが値上げされ、家計への影響は深刻な状況となっております。内政では、新しい内閣総理大臣が決まりました。初めての女性総理ということもあり、その支持率も近年にはない高さです。また、新たな連立政権ということで、私どもの地方にどう影響するのかわからない不安もあります。

さて、私も全国町村議会議長

会副会長の2年間の任期を無事に全うし、本町議会の議長を務めながら昨年、福岡県町村議会議長会の3期目の会長に再任し、全国町村議会議長会の理事にも就任いたしました。関係する大臣、国会議員や関係省庁などへの要請活動も頻繁に行う機会があり、その度に本町のPRを行っておりますが、同時にその責務の重大さを痛感し身の引き締まる思いであります。

なお、広報広聴常任委員会が発行しております議会広報紙「こんにちは議会です。」が全国コンクールで第9位に入賞いたしました。そのおかげもあって茨城県や愛知県などの遠方からも5市町村にわたり広報編集等の視察研修に來られました。今年も既に3件の受入れが決まっております。これを機に全国に「添田町」の知名度が上がり、本町の活性化に繋がっていければ幸いです。

また、昨年の4月には新しい小中学校が開校いたしました。

今年は中学校のグラウンド整備を実施して建替事業は完了いたしますが、議会といたしまして「添田町が目指す子ども像」の達成に向け、関係機関とともに鋭意取り組んで参ります。この他、人口減少対策、空き家対策、農林業対策など、喫緊の課題も山積しております。

議員一人ひとりの資質の向上と議会の団結力により、町民皆様が安全・安心に暮らせるよう努力したいと考えております。特に、人口減少・高齢化の急速な進行も相まって、今後は議員の定数割れ、なり手不足が常態化するなど、議会機能の維持が困難な状況になりつつあります。このような重大事態の事前防止に向けて取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

終わりに、町民皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。